

留学体験レポート

新潟国際情報大学

国際文化学科

21017018 揖斐 菜々子

韓国留学に行って体験し感じた点、驚いた点、分かった点、最後に思い出に残った事、後輩へのメッセージを述べていく。

1つ目は、交通に関する事だ。電車では **suica** のような電子カード「**T money** カード」がある事が韓国へ行って分かった。しかし、日本の電子カード「**suica**」は、定期券があるが、「**T money** カード」は、日本と異なり定期券がないという事に驚いた。しかし、電車の運賃でいうと日本より韓国の方が、安かった。日本（新潟）では、私の最寄り駅「越後曾根駅」から新潟駅まで片道約40分掛かって、410円なのに対し、慶熙大学の最寄り駅「回基駅」から桜や花火大会で有名な「汝矣島駅」まで同じく約40分かかるが145円であり、日本の電車運賃の約三分の一である事が分かった。

2つ目は、コンビニについてだ。日本のコンビニは、トイレがついているのに対し、韓国のコンビニでは、「トイレがついていない」という事に驚き、少し不便だなと感じた。また、店員さんは、日本では考えられない、「仕事中に携帯を触っている事」にも驚いた。この2つには、驚きと同時に、なぜだろうという疑問も浮かんだ。以上の事から、日本のコンビニと韓国のコンビニは全く違う事が分かった。

3つ目は、カフェについてだ。まずカフェの数について述べる。日本のカフェは、韓国のカフェと比較すると、圧倒的に韓国のカフェの方が多いう事が、韓国留学に行って、改めて分かった。慶熙大学の近くは、カフェが多く驚いた。多分、学生が多いのでカフェが多いのだろう。次にカフェの環境についてだ。日本では、お茶を飲んで話す事が多いため賑やかで勉強している姿があまり見られないが、韓国のカフェでは日本と違い、静かで多くの人がカフェで勉強している姿が見られた。私もテスト間近になるとカフェで勉強した。韓国のカフェはとても静かで集中する事ができ、とても良かった。また、暇な日にもカフェに行ったりして韓国のカフェはいいなと感じた。

次に、思い出に残った事、後輩へのアドバイスについて述べる。まず、思い出に残った事について述べる。一番思い出に残った事は、トウミの서현언니の実家に1泊2日で泊まった事だ。初めて韓国の市場に行ったりするなど初めての事ばかりで楽しかった。また、韓国の家庭を間近で見る事ができた。서현언니、서현언니のお母さん、お父さん、お兄さん家族全員が、私の事を家族のように優しくしてもらい、また韓国の家庭に泊めてもらう貴重な体験ができ、本当に서현언니含め서현언니のご家族に感謝している。

最後に、後輩へのアドバイスとして、韓国に留学したらいろんな所へ行き、初めての体験や

日本では出来ない貴重な経験をして欲しい。また、韓国に行くと、モバイルデータ通信が使えないため、モバイルデータ通信やWi-Fiが無くても使える韓国の路線アプリ「Subway」をもしよかったらアップデートして欲しい。



トウミ서현언니と서현언니のご家族と서현언니の友達남미언니